

たくさんの方の応援ありがとうございます

平成30年度

旭市ふるさと応援寄付金

市への思いやまちづくりへの参加意識を持つ皆さんから、貴重な寄付をいただきました。
平成30年度のふるさと応援寄付金の内訳と活用した事業を紹介します。

ふるさと応援寄付金

市のふるさと応援寄付は、寄付者が寄付金の使い道を決めて寄付する制度です。

ふるさと納税などによる市外からの寄付のほか、市内の寄付者からの応援もあり、昨年度のふるさと応援寄付金の内訳は表1のとおりでした。

ふるさと応援寄付金を活用した事業

寄付金は旭市ふるさと応援基金として積み立てられ、昨年度は表2の事業の財源として活用しました。

問い合わせ先

企画政策課政策推進班

☎ 62・5382

表1 平成30年度ふるさと応援寄付金の内訳

寄付金の使い道	件数	寄付額(円)
産業の振興(農水産業・商工業・観光の振興など)	384	8,640,000
健康福祉の充実(子育て支援、高齢者福祉の充実、スポーツの振興など)	267	7,050,074
教育の充実(学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術文化の振興など)	196	4,867,000
生活基盤の整備(道路の整備、公園の維持管理、公共交通網の整備など)	69	1,768,000
安全安心なまちづくり(防災力の強化、消防力の強化、交通安全対策など)	113	3,463,442
指定なし	755	22,686,832
合計	1,784	48,475,348

表2 平成30年度ふるさと応援寄付金の活用事業

使途項目	基金充当事業名	充当額(円)
産業の振興	商業活性化推進事業(プレミアム付旭市共通商品券発行事業補助)	5,000,000
	園芸生産強化支援事業(農産物の生産管理機械など)	5,000,000
健康福祉の充実	緊急通報体制等整備事業(一人暮らしの高齢者などの緊急時の救援体制の整備費)	1,000,000
	老人クラブ活動促進事業(高齢者のグループ活動などへの補助)	624,000
	あさひ健康応援ポイント事業(健康増進活動をした市民の中から抽選で健康グッズを進呈)	500,000
教育の充実	学校いきいきプラン事業(小中学校の特色ある教育活動費)	1,800,000
生活基盤の整備	旭スポーツの森公園整備事業(園路改修工事費)	2,600,000
安全安心なまちづくり	防災対策整備事業(避難者用備蓄食料品などの整備費)	1,200,000
合計		17,724,000

※平成30年度末のふるさと応援基金残高は61,307,355円です。

農地を貸したい人を募集しています

農地中間管理事業

農地の規模を拡大したい担い手に貸し付ける、農業振興地域内の農地を探しています。
貸したい農地がある人は相談してください。

事業の仕組み

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地を解消するため、農地中間管理機構が、農地を貸したい人と借り手との中間的な受け皿になり、農地の集団化、経営規模の拡大、新規参入を進めています。

貸し付ける場合

貸したい農地がある人は、農地のある市町村か、公益社団法人千葉県園芸協会に相談してください。農地の受け手を探し、賃料の徴収、支払いを行います。
一定の要件が満たされた場合は、市に申請することで協力金の交付を受けることができます。
農業振興地域外の土地や再生不能な農地など、借り受けの対象にならない場合もあります。

農地中間管理事業のイメージ

農地中間管理機構 (千葉県園芸協会)

- ① 農地を借り受ける
- ② 担い手がまとまりのある形で利用できるよう、配慮して貸し付ける
- ③ 賃料の徴収、支払い

担い手

貸し手

申し込み・問い合わせ先

公益社団法人千葉県園芸協会

農地部

☎ 043・223・3011

市農水産課基盤整備班

☎ 74・3660